

別紙

四日市版コミュニティスクール報告書（令和3年度総括）

四日市市立三重小学校

校長 松岡 佳代

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- ① 笑顔をキーワードとして、学校・保護者・地域が協働して取り組んできたことを継続・発展させます。
- ② 保護者や地域の声を反映した教育活動を進めるとともに、学校とともに子どもを育てる中心的な役割を果たします。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

コミュニティスクールの指定を受け、地域の教育力を活かした活動を行ってきました。職員の意識も向上し、各学年とも地域と協働した実践を積み重ねてきました。今年度は、コロナ感染症拡大防止対策を行っている中での各学年の授業の様子や子どもたちの活動を見ていただきました。

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

★1年生 登下校支援と「つながりを大切に」

遠くから通学する子どもたちの登下校の見守りや、1年生だけで下校する日の見守りを地域の方にお世話になっています。例年は生活科では、三重幼稚園の子たちと一緒にぶんぶんごまの活動をしたり、昔遊びでは、長寿会からボランティアとして十数名の地域の方との交流遊びを楽しんでいますが、今年度も昨年度と同様に、コロナ感染拡大防止のため、交流会はできませんでした。来年度は行う予定です。

★2年生 生活科「三重っ子郵便局」

「三重っ子郵便局」では、実際に家庭から先生へ手紙を出すことで家庭と学校との協働を進めました。また学年内で学級ごとに手作りのポストを準備し、手紙のやり取りをしました。

生活科の「野菜を育てよう」の単元では、野菜を育てました。一人一鉢の自分が育てたい野菜だけでなく、学年園で野菜を育て、芽や茎が伸びていく様子を観察できました。野菜を育てるにあたり、興農社の方にきていただき、野菜の育て方や芽かきについてのお手伝いもしていただきました。



★3年生 社会科・総合：「三重のまちを知ろう」



東坂部の「火の見やぐら」、「そろばん塾」、「西光寺」、生桑町の町並みを見学し、一人一人が校区の地図にまとめました。また、四日市市博物館に出かけ、昔の道具を見たり触ったりし、昔の人の生活に触れました。図書室にある学校百年誌を通して自分たちの学校は、100年以上歴史のあることを実感

できたようです。

毎年の体験活動として定着してきた三重地区にみえる伝統産業である萬古焼の陶芸家から、四日市の伝統産業であることを伝えてもらい、自分たちも本格的に陶芸体験をしました。

★4年生 社会：「地域の防災」「図書ボランティアによる本選び」

地域の方から、災害が起こった時に大切にしなければならない事について、教えていただきました。地域で災害が起こった時に、学校が避難所になること、災害時に使用する防災用具や避難所関連用具を見せていただき、使用方法を学びました。



また一日に必要な水分量や非常食についても話を聞き、防災対策の大切さを心に刻むことができました。



図書ボランティアの方が中心となり、4年生のみんなに読書の面白さに気付いてもらおうと、読書講演会を実施しました。その後に、子どもたち一人一人が、自分で読みたい本、図書室に置いてほしい本を1冊ずつ選びました。自分たちの選んだ本は図書室に並んでいます。

★5年生 社会科・総合「お米はかせになろう」

今年度は、校区内の地域の方からバケツ稲用の土をいただき、お米を育てました。田で田植えや稲刈りはできませんでしたが、バケツに苗を植えて稲の育つ様子を観察しました。関心を高めながら、子ども達の活動意欲を大切に学習に取り組みました。



★6年 総合的な学習 「修学旅行を成功させよう」

修学旅行の説明会では、コロナ感染拡大防止のため、タブレットに説明動画を入れて、自宅でゆっくりと見ていただきました。今年度は、県内（伊勢志摩・伊賀方面）での修学旅行となりましたが、三重県議会議事堂を見学したり伊賀流忍者博物館や組み紐体験などをしたりして、社会科の歴史や公民の学習を振り返ることができました。

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

年間5回のコミュニティスクール運営協議会を開催し、さまざまな視点からの意見をいただき、教育活動を見直すことができました。

毎回、日常の子どもたちの様子の映像や各学年の授業の様子、学校内の学習環境を見ていただくことで、実際の教育活動を理解していただきました。また、みえ委員会の場で生まれた長寿会（地域のお年寄り）の方々との交流活動は、今年度は交流できませんでしたが、来年度からは気候のよい時期に、1・4年生で継続して実施する予定です。

みえ委員会との協働により、地域と教職員との距離が近くなり、お互いが自然体で交流を深めることができています。子ども達の授業の様子を視察したうえで、教育活動や学力向上について、いろいろな立場からのご意見をいただくことができ、学校運営の改善につながっています。

3 今後に向けて

みえ委員会で教職員との意見交流をさらに深め、学校の実態をより理解していただく活動をつづけます。また、学校だよりやホームページ等で情報発信をし、地域や保護者に広く情報発信していきます。今後も「学校・子どもを支える応援団」という形で、本校教育活動に参画いただき、ビジョン達成に向けた学校づくりを推進していきます。